

学校運営計画(4月)			評価(3月)		
学校教育目標	コミュニケーション力と主体性に富み、チャレンジ精神を持って生き抜く宗高生の育成				
学校運営方針	①校訓「質実剛健・自彊不息」を体現すると共に、主体的に学習活動・学校行事等に参加する生徒を育成する教育活動を全職員で実践する。 ②魅力ある中高一貫教育校の併設高校となるために、各分掌がそれぞれの課題に意欲的に取り組むとともに、分掌等の連携を密に行う。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
高校生と中学生との良い相互作用によって中高一貫教育校としての体制が職員・生徒ともに定着しつつある。明るく元気な挨拶が増え、落ち着きの中にも活気が醸し出されてきている。 生徒は学校行事に積極的に参加するが、さらに主体的に参加する仕組みを作り、自らの成長を実感させる取組を通して進路の実現を図る。 中高一貫教育校の完成に向けた対応が急務である。	自彊不息の学習指導と授業改善	学習方法(予習・授業中・復習)の習得により、より高い学力とともに自学力を獲得させる。			
		生徒の実態に適合した「わかる授業」を展開し、的確な評価とフォローによって生徒の学習意欲を高めさせる。			
		教師一人ひとりが「隠れたカリキュラム」として学校文化を醸成している自覚を持ち、自ら研究と修養に努める。			
	生徒指導と進路指導の一体的指導	「夢に向かって」の効果的活用により、生活の振り返りや目標の学習質量達成のための指導改善の工夫を図る。			
		学校行事・部活動への主体的な取組をとおして、自己の在り方や将来の展望を考える生徒を育成する。			
		健やかで康らかな教育環境のもと、心身ともに逞しい生徒を育成し、自らの進路を自らの力で拓く力を育成する。			
	中高一貫教育校・高校部の魅力づくり	中高一貫教育校ならではの、中高合同のより魅力的な諸活動によって生徒育成をはかるための工夫を行う。			
		高校3年間、中高6年間に応じたキャリア教育により、中高一貫教育校の優位性を高めるプログラムを実行する。			
		内進生と外進生の混在に向けてのカリキュラム、クラス編成、学校行事、部活動などの準備を行う。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
教育推進領域	教育計画部	生徒一人ひとりに様々な角度から寄り添うことで、学習方法を習得させ学習意欲の向上を図る。	学習方法を習得させ、自学力を獲得させるため、学年と連携して考査前の個別指導を充実させる。		
		各種業務の内容と手順を検討し、共通理解の下に円滑な教育活動ができるよう支援する。	時間割や教室割などこどのような工夫ができるか検討し、実施する。 各種業務のマニュアル化を進めるとともに、エラーチェックの方法を検証する。		
	企画広報部	中高一貫教育校としての行事全般と父母教師会活動の運営の円滑化を図る。	学年や他分掌、中学校と連携し、内進生と外進生の混在に向けた諸行事の準備を行う。 父母教師会との連携を深め、中学校と一体になった魅力的な活動を実施する。		
		学校創立100周年に向けた広報活動を充実させる。	学校案内やホームページの内容を充実させ、本校の魅力が伝わる効果的な広報活動を行う。 学校創立100周年に向けた情報収集を充実させる。		
生徒支援領域	生徒育成部	規範意識の高揚と自律の精神を持った志高い生徒を育成する。	生徒の主体的活動を通してマナーや規範意識の向上を図る。 必要に応じて全校集会や学年集会を開き、自己責任能力と道徳心の育成を図る。		
		学校行事・生徒会活動・部活動を通してリーダーの育成を図る。	生徒による自主的な生徒会活動及び部活動の活性化を図る。 中高生徒会が連携し、特色ある学校行事を実施する。		
	保健環境部	各委員会の活性化を図り、自主的に取り組む生徒を育成する。	清掃方法のあり方を改善し、校内美化の意識向上に取り組む。 リサイクルと節電に取り組み、エコスクールとしての意識を高める。		
		中高一貫教育校として連携を深め、生徒の心身両面の情報を共有する。	生徒の傾向を把握し、検診結果等の引き継ぎをスムーズにする仕組みを構築する。 中高で情報交換を密に行い、あらゆる情報を共有する。		

進路支援領域	進路指導部	志高く、自らのキャリアプランを創出し、自立した高校生を育成する。また、その支援をきめ細かく行う。	キャリア教育部と連携し、中高一貫教育としての特色あるキャリア教育プランを構築し実践する。				
			「夢に向かって」の活用が本校進路指導の根幹であることを全職員で共通理解を図る。				
	キャリア教育部	「学ぶ」ことの必要性・有用性の認識を向上させ、進路への関心・意欲の高揚を図る。	生徒に寄り添い、支援していくことを目的とした進路検討会を実施する。				
			論文作成活動を通して、自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解するコミュニケーション力を養う。				
進路や職業などキャリアに関する学習を主体的に行い、「働く」ことの意義についての総合的な理解を促進する。	探求活動を通して、学ぶ目的を主体的に自覚し、正確な知識に基づいて未知なるものの解決に挑戦する姿勢を育成する。						
	探求活動を通して、多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で当面の進路や学習を選択し、自分なりの職業観・勤労観を養う。						
探求活動を通して、自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題を発見し、その解決策を見いだす姿勢を養う。							
図書研修領域	図書部	自己のあり方や将来の展望を考える場としての機能を強化する。	夏季休業期間での読書を促す取組を行う。				
			『文苑』の内容を中高一貫校としてふさわしい形に整える。				
	図書委員の意見を取り入れ、生徒各自が成長を実感できる自主的運営を促す。	各図書館行事の企画内容の周知と参加を促すための工夫をする。					
		討議が深まる読書会に適したテキストを選定する。					
研修部	本校の特色を活かした教育活動を目指し、職員の資質向上に繋がる研修を実施する。	教育的課題を考慮して職員研修会を実施する。					
		中高一貫教育校として、各学年や分掌と連携しながら、授業改善に関する研修を実施する。					
生徒の自ら学ぶ意識を向上させ、学校生活の充実を図る。	弁論大会を生徒の言語活動の一環と位置づけ、生徒一人ひとりが自己を見つめ、自己の思いを表現する機会となるように、活動をより充実させる。						
	公開授業、授業アンケートを実施し、生徒の学校生活の充実を図る。						
学年領域	第1学年	自己の目標に対して高い志を持ち、粘り強く努力する姿勢を養う。	予習、授業、復習の習慣化を図り、バランスのとれた基礎学力の定着を図る。				
			学ぶ意義を理解させ、粘り強く努力できる生徒を育成する。				
	生活習慣の確立とともに、自律し協働する態度と、自主的に行動する態度を育成する。	心身の逞しい成長のために、部活動や生徒会への積極的な加入を促す。					
		生徒一人ひとりが活躍できる場面をつくり、社会性やリーダーシップの育成を図る。					
	主体的に学び、自らの進路を切り拓く姿勢を身につけさせる。	「夢に向かって」を活用し、週最低1050分以上の自学を行う習慣を身につけさせる。					
		総学や講話を通して、具体的な進路選択ができる力を育成する。					
	行事や部活動、生徒会活動に積極的に取り組み、リーダーシップの育成を図る。	学校行事において、生徒自らが考え行動する時間を設ける。					
		中堅学年として、学校の活性化に向けた積極的な取組ができる人材を育成する。					
	最高学年として、明るく元気にリーダーシップを発揮する生徒を育成する。	文化祭や体育祭を成功に導くことによって、リーダーシップの育成を図り、生徒の充実度を引き上げる。					
率先して校内の美化に務め、全校生徒の見本となる生徒を育成する。							
進路実現のために努力を惜しまない、たくましい生徒を育成する。	生徒一人ひとりが、第一進路希望を実現していく過程を通して、それぞれの成長を支援する。						
	最上級学年として、最後まであきらめない強い意志を持ち、それぞれの未来を積極的に開拓する生徒を育成する。						